

**令和5年度進行管理・評価シート**  
**高山市 歴史的風致維持向上計画（平成30年3月26日認定）**  
**（最終変更 令和3年2月15日）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画との連携	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物活用整備事業	.....	3
2 歴史的町並保存事業	.....	4
3 景観重要建造物等修景事業	.....	5
4 伝統構法木造建築物耐震化事業	.....	6
5 無電柱化等事業	.....	7
6 町並み景観保全事業	.....	8
7 屋台保存事業	.....	9
8 伝承芸能保存事業	.....	10
9 郷土の歴史・文化の語り部育成事業	.....	11
10 伝統行事担い手支援事業	.....	12
11 町並み歩行空間創出事業	.....	13
12 スポット整備事業	.....	14
13 まちの博物館外国語対応事業	.....	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の指定等	.....	16
2 文化財の修理事業、周辺環境の整備事業等	.....	17
3 文化財に関する普及・啓発の取組等	.....	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 新聞報道	.....	19
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客等の回遊性の向上	.....	20
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	21

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度
計画の推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 計画の推進にあたっては、都市計画課と文化財課が事務局を務め、各事業の実施については、各事業担当課と連携調整を行うとともに、文化財所有者や周辺住民、関係団体や事業者等と協議・調整を行うものとする。また、必要に応じて国や岐阜県、各審議会と協議を行い、助言や支援を得るとともに、法定協議会である高山市歴史的風致維持向上計画協議会において、計画の推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市計画課と文化財課の連携の下、計画の推進を図った。各事業については、事業所管課を中心に関係各課との連携を図るとともに、地元住民や関係団体等と必要な意見交換を行い、事業の推進を図った。計画の進行管理・評価においては、令和5年度進捗評価を実施し、その評価結果について法定協議会である「高山市歴史的風致維持向上計画協議会」から意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高山市歴史的風致維持向上計画協議会の様子

■法定協議会への協議状況

○高山市歴史的風致維持向上計画協議会  
 開催日 令和6年4月19日  
 開催場所 高山市役所中会議室  
 (議題)  
 ・令和5年度進行管理・評価について  
 ・第三期計画について



第1回文化財審議会の様子

■関連審議会への協議状況

○高山市文化財審議会  
**【第1回】**  
 開催日 令和5年8月30日  
 開催場所 高山市役所302会議室  
 (議題)  
 ・文化財保存活用地域計画について  
 ・天然記念物の実態調査の結果について  
 ・金森長近マンガ製作活用事業について  
**【第2回】**  
 開催日 令和6年3月13日  
 開催場所 飛騨高山まちの博物館研修室  
 (議題)  
 ・文化財保存活用地域計画について

評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
景観計画との連携	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
特に重点的に良好な景観づくりを推進する区域については、「景観重点区域」として指定し、建築物、工作物、屋外広告物などについて、色彩、形態意匠、高さ、大きさなどの基準を設け、地域の特性に応じた景観づくりを推進している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画の理念や概要、条例や関連する他制度、活用できる助成制度等についてまとめたチラシを作製すると共に、市の景観計画ホームページ上でも情報を整理し、景観関連の情報へのアクセスを容易にできるようにした。また、特に城下町景観重点区域(伝統的建造物群保存地区を含む)内において、近年、置き看板等が増加しているため、実態を調査し、庁内で結果を共有し、屋外広告物の掲出基準の検討資料とした。

進捗状況 ※計画年次との対応

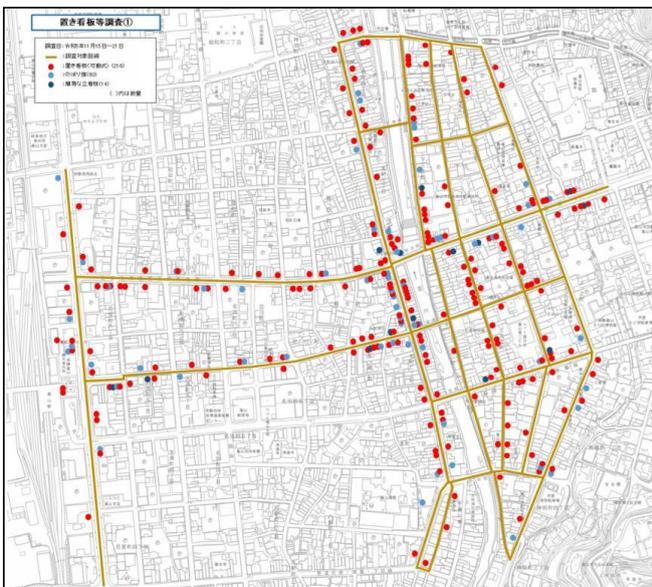
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



景観計画チラシ(左:表面、右:裏面)  
(リニューアルした市の景観計画HPにも掲載)



置き看板等の調査(令和5年11月)

評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
歴史的建造物活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和6年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉	
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用を図るため、空き家となった町家等を取得又は借上げのうえ修理・修景を行い、地域の歴史的風致の核となる施設として整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
下二之町大新町伝統的建造物群保存地区内の大規模な町家(旧村田邸)を活用した「若者等活動事務所 村半」が、令和5年7月で供用開始から3年が経過した。村半は、登録をすることで無料で利用することができ、登録者数は令和5年度で1,691人となった。 現在は、学生が学習したり交流したりする場として多く利用されており、次代を担う若者の活動や交流の拠点として活用された。 <input type="checkbox"/> 令和5年度実績 ・来所者数 27,955人(うち、登録者42%)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

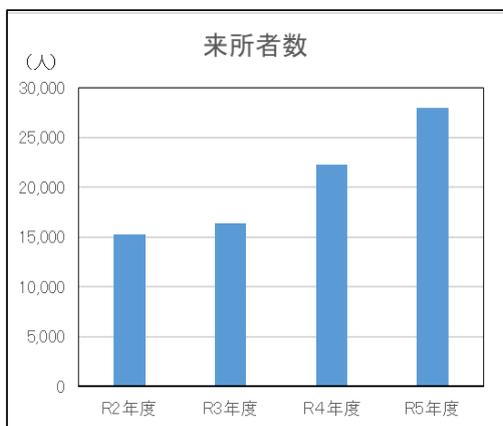
状況を示す写真や資料等



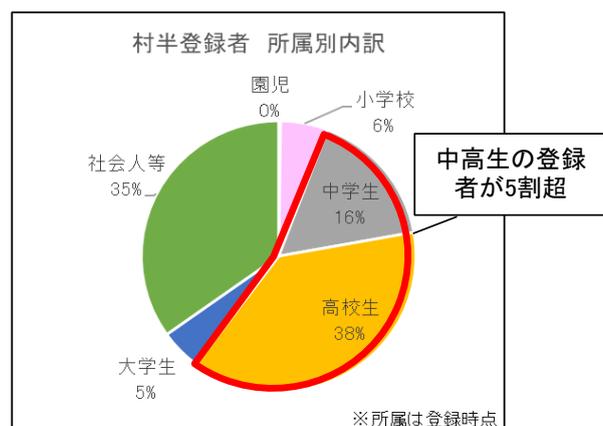
若者等活動事務所 村半



村半での活動の様子



(村半調べ)



(村半調べ)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史的町並保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～令和6年度

支援事業名 重要伝統的建造物群保存地区保存事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の修理及び外観の修景、防火対策に要する経費の一部を助成することにより、歴史的な建造物の保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修理・修景を実施することにより、建造物の適切な保存や町並の景観保全を図ることができた。また、防火帯としての土蔵を整備し、地区内における防火帯維持を図ることができた。

□令和5年度実績

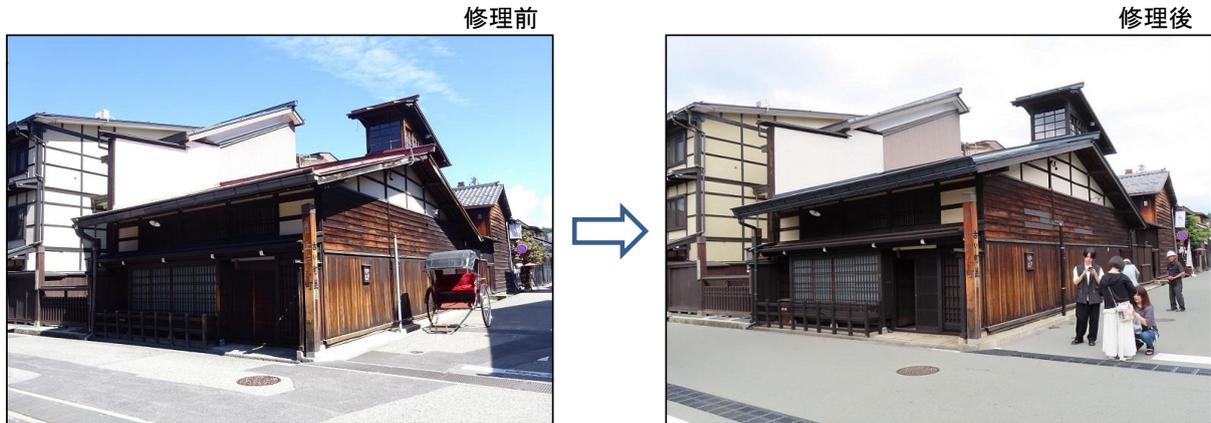
- ・伝統的建造物群保存地区保存修理事業 修理補助:5件(修理:3件、修景:2件)
- ・伝統的建造物群保存地区防災対策事業 整備補助:3件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統的建造物群保存地区保存事業により修理(屋根葺替、外観修理)が行われた物件



伝統的建造物群保存地区防災対策事業により整備(屋根葺替)が行われた物件

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観重要建造物等修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	景観重要建造物の外観を維持するために必要な修理や修景に要する経費の一部を助成することにより、まちの景観形成の核となる建造物の保全を図る。 市街地景観保存区域内において行われる建築物の新築・修理等の行為が、伝統的な意匠を基本とした一定の基準を満たす場合に、当該行為に要する経費の一部を助成し、町並み景観の保全を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観重要建造物の外観を維持するために必要な修理、市街地景観保存区域内の建造物における一定の基準を満たす建築行為に対して助成を行った。歴史ある建造物の維持保全にかかる所有者の経済的負担を軽減するとともに、建造物の形態や意匠等の無秩序な変更を防ぐことにより、周辺の景観と調和した趣のある町並みが保全された。 <input type="checkbox"/> 令和5年度実績 ・景観重要建造物修景事業補助 重点区域内:0件(R4:0件) ・市街地景観保存区域建造物修景事業補助 重点区域内:6件(R4:4件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



格子の新設、外壁塗装等の修景工事が行われた物件

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
伝統構法木造建築物耐震化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 建築基準法施行前に建築された木造建築物は、現在の建築基準法に基づく耐震診断を行った場合、耐震性が非常に低いという結果が出てしまうが、反面、柔らかさや粘り強さがあるという特徴があることから、その特徴に応じた耐震診断や耐震改修工事を行うための「高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル」を平成25年度に作成した。このマニュアルに基づいて行われる、伝統的な木造建築物の耐震診断や耐震改修工事に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル」に基づいて行われた、伝統的な木造建築物の耐震診断や耐震改修工事に対して補助を行った。耐震性の向上により、継続的に居住できる環境と伝統的な建造物の維持が図られた。  
 5月、建築士事務所協会と連携して、建築士を対象とした研修会を開催、12月には設計士や大学研究者等による伝統構法木造建築物研究会の耐震性向上に係る勉強会の開催を支援した。  
令和5年度実績  
 ・伝統構法木造建築物耐震化事業補助 耐震診断:1件(R4:0件) 耐震改修:1件(R4:0件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



復元力の大きい耐力板壁による補強



勉強会の様子(令和5年12月3日)

現行の建築基準により耐震改修を行うと、歴史的な建築物の形態・意匠を維持できないことが多い  
 左の写真は、耐震補強金物を用いず板壁の耐力壁を設けることで、形態・意匠の維持と柔らかく粘り強い伝統構法木造建築物の特性に応じた耐震改修を行った箇所

評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
無電柱化等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉

計画に記載している内容 高山駅方面から三町伝統的建造物群保存地区や飛騨高山まちの博物館へつながる通り等において、伝統的な町並み景観の再生を図るため、景観を阻害している電線等を地中化するとともに、車道・歩道・側溝等について景観に配慮した整備を行う。

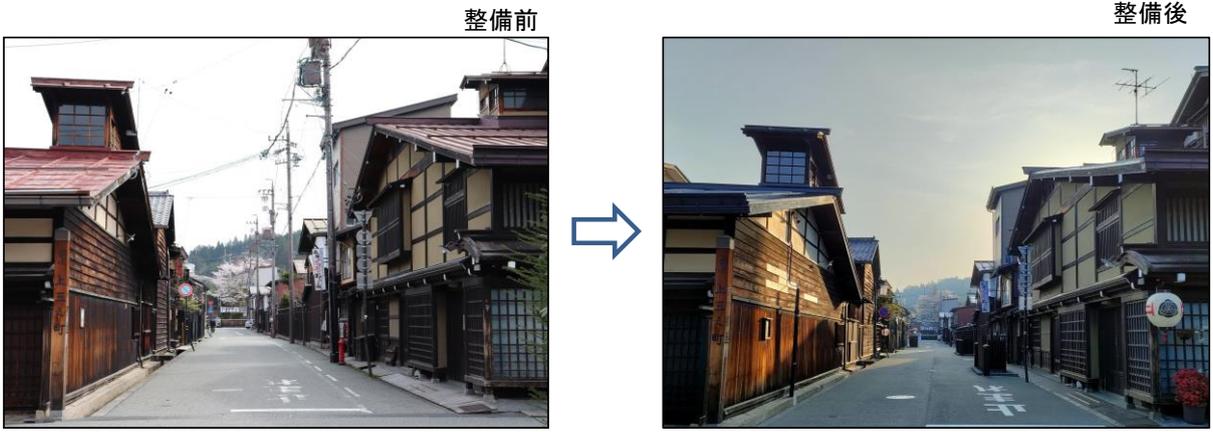
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道上一之町花里線の計画区間660mのうち、三町伝統的建造物群保存地区の区間190mと駅側の160mについては無電柱化整備および道路修景工事が完了した。中間区間310mについては、引込設備工事まで完了し、入線抜柱工事に向けて調整を行った。引き続き、入線抜柱工事および道路美装化工事を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



市道上一之町花里線(三町伝統的建造物群保存地区)



市道上一之町花里線(駅側工区)



整備後の夜間景観(三町伝統的建造物群保存地区)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
町並み景観保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	良好な町並み景観の創出を促進するため、景観に配慮した形態意匠の看板を設置する場合や、板塀や生け垣を設置する場合等に補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高山の景観にふさわしい看板の設置やふさわしくない看板の撤去、生け垣や板塀等の設置に対し助成を行った。広報紙やホームページ等様々な媒体を通じ助成制度の周知に努め、町並みにおける良好な景観の形成に寄与した。 <input type="checkbox"/> 令和5年度実績 ・看板設置及び撤去補助 重点区域内:3件 重点区域外:1件(R4:計4件) ・生垣設置補助 重点区域内:0件 重点区域外:1件(R4:計2件) ・塀等設置補助 重点区域内:1件 重点区域外:1件(R4:計4件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



老朽化した板塀を撤去し、改めて景観にふさわしい板塀を設置した

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
屋台保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	屋台修理: 昭和39年度～令和6年度 保存活動への助成: 平成2年度～令和6年度		
支援事業名	屋台修理: 重要有形民俗文化財修理、防災事業 保存活動への助成: 市単独事業		
計画に記載している内容	非常に価値の高い意匠を持つ高山祭の屋台の保存管理については、専門的な技術による管理やからくりの伝承等が不可欠であるとともに、屋台の修理には多額の資金が必要である。必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、屋台修理・屋台蔵修理を計画的に実施するとともに、屋台の保存に関わる団体の活動に対して助成を行い、屋台の保存を図る。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高山祭屋台の保存修理事業を行い、将来への屋台の継承に寄与した。

令和5年度実績

- ・仙人台、恵比須台、崑崗台、青龍台修理

高山祭屋台の保存防災施設である屋台蔵の修理を実施し、防災・防犯の機能を回復させた。

令和5年度実績

- ・三番叟屋台蔵修理

高山祭の屋台を保存する活動を行う団体や修理技術者の育成事業に対して助成を行ったことにより、屋台の保存や修理技術の継承に寄与した。

令和5年度実績

- ・高山祭屋台管理費補助金: 1件 (高山屋台保存会)
- ・からくり屋台管理技術伝承保存補助金: 1件 (高山屋台保存会)
- ・高山祭屋台保存技術伝承保存補助金: 1件 (高山・祭屋台保存技術協同組合)
- ・高山祭屋台保存技術研修事業費補助金及び技術修得補助金: 4件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



恵比須台 彫刻修理



恵比須台 漆箔修理

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
伝承芸能保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成2年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内各地で行われている伝承芸能、祭礼活動等は、そこに住む人々の教養や娯楽、環境等から生まれた特有の文化であり、地域の誇りである。しかし、近年、後継者の不足や保存会活動費の不足等で伝承していくことが困難となっている。これらの保存活動に対して助成を行うとともに、記録映像を作成し後継者育成に活用することで、後世への継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の伝承芸能の保存団体に対する活動助成や関係者と情報共有を行ったことにより、伝承芸能の維持・継承に寄与し、地域の誇りの醸成に貢献した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となったこともあり、伝承芸能や祭礼等の活動が活発になった。

- 令和5年度実績
- ・伝承芸能保存団体補助金:17件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■伝承芸能保存団体	
高山市子供伝承芸能連合保存会	ひねりの舞保存会
岩滝民謡保存会	荘川民謡保存会
飛騨総社親子獅子舞保存会	金桶金蔵獅子保存会
高山民謡保存会	荒城神社無形文化財保存会
下切町金蔵獅子保存会	上広瀬金蔵獅子保存会
飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会	一之宮町子ども会鬮鶏楽伝承会
飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会	
千島白山神社獅子舞保存会	
錦山神社徳兵衛獅子保存会	
新宮町伊勢神楽保存会	
宗和流四常社	



祭礼行事での親子獅子舞披露(飛騨総社親子獅子舞保存会)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
郷土の歴史・文化の語り部育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 多くの市民が郷土の歴史・文化を語るができるよう、高山市が認定する歴史ガイドマスターが講師となり、市民による「語り部」を育成することで、後世への継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高山の歴史・文化・自然・ガイド技術等について学ぶ、語り部養成講座を開催した。参加した市民、ガイドボランティア、観光業者等の方々は、語り部としての活動に役立つ知識や技術を習得することができ、語り部としての資質の向上に寄与した。

- 令和5年度語り部養成講座開催実績
- ・開催回数:4回(全6講座)
- ・参加延べ人数:194人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



語り部養成講座の実施状況  
(令和5年7月1日)



語り部養成講座の実施状況  
(令和5年11月11日)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
伝統行事担い手支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭りなどの伝統行事の継続に苦慮している地域において人材の確保を図るため、地域内外から伝統行事の担い手として高い志を持った人を募り、伝統行事の実施者と支援希望者をマッチングさせるための人材登録・斡旋を目的とした仕組みの構築及び組織化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度に市民とともに政策を検討、立案するため実施された「たかやま共創ミーティング」の第3弾として、市民と「高山祭を維持するための持続可能なまちづくり」について、ミーティングを行った(2回)。その中で、担い手不足を解決するための取り組みの検討を行う等、伝統行事への関心の醸成に努めた。

第1日目:現状、課題などの整理、第2日目:政策検討、意見交換

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



たかやま共創ミーティング 第3弾  
高山祭を維持するための持続可能なまちづくり  
1日目の様子(令和5年6月15日)



たかやま共創ミーティング 第3弾  
高山祭を維持するための持続可能なまちづくり  
2日目の様子(令和5年7月5日)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
町並み歩行空間創出事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和6年度
支援事業名	景観まちづくり刷新支援事業、市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区及びその周辺の通りにおいて、景観に配慮した舗装・側溝の整備による美化や、外縁部の駐車場からの誘導ルートとなる人道橋の新設などを行う。

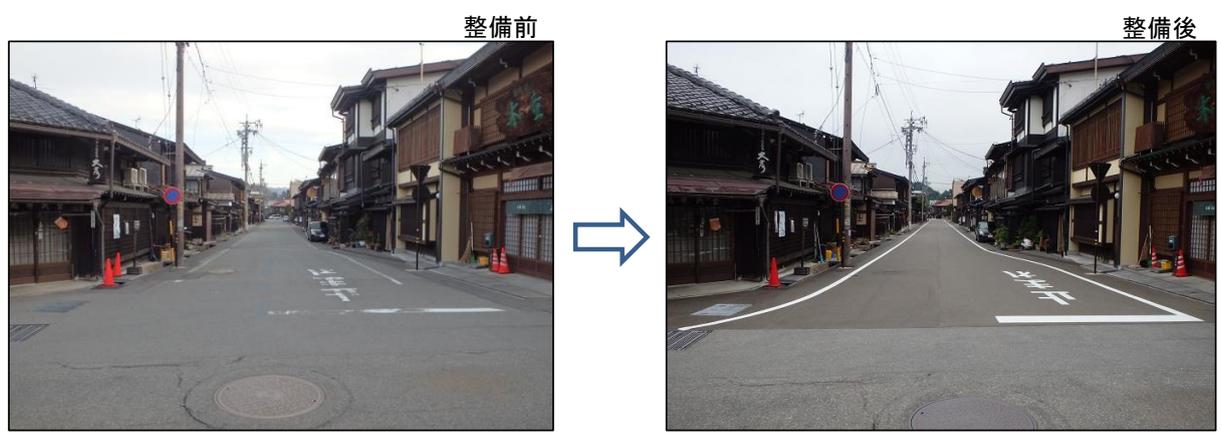
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道上二之町大新町線において、景観配慮型の舗装整備を行ったことにより、町並み景観と調和した、潤いのある歩行空間が創出された。  
令和5年度実績  
 ・市道上二之町大新町線修景整備(舗装修繕 施工延長L=163m)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



景観に配慮した舗装を実施した市道上二之町大新町線

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
スポット整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉

計画に記載している内容 観光客等が楽しく快適にまちを巡ることができる歩行空間を創出するため、主な動線にまちかどスポット(お休み処)を整備する。整備においては、景観に配慮したベンチや植栽等の配置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

スポット整備はこれまでに多数行っており、市民や観光客の憩いの場として親しまれている。令和5年度はこれまで整備してきたスポットの修繕等維持管理により、景観への配慮及び多くの人に親しまれるスポット整備に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



城山(三の丸)スポット



旧高山町役場スポット

市民や観光客が休憩、交流する場として利用されているスポット

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
まちの博物館外国語対応事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 外国人観光客の増加に伴い、外国人観光客が多く立ち寄る飛騨高山まちの博物館において、展示物の説明表示を多言語化するとともに、外国語で展示内容や高山の歴史文化を説明できるガイドを養成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域通訳案内士や全国通訳案内士に、まちの博物館主催「語り部養成講座」への参加を呼びかけ、参加いただいた。「語り部養成講座」への参加により、外国人へのガイドを行う際に必要な高山の歴史・文化についての具体的な知識や手法について習得することができ、ガイドの資質向上に寄与した。

また、まちの博物館ボランティアガイドなどを対象とした「ボランティアガイド養成講座」を開講し、英会話ができるボランティアがガイドを務め、英語による展示解説についての講座を実施し、英語ガイドのスキルアップを行ったほか、美術展示室で展示中の「飛騨の遺墨との邂逅」の英語ガイドについての検討会を行った。

□令和5年度実績

- ・「語り部養成講座」への地域通訳案内士、全国通訳案内士の参加: 延べ3名
- ・「ボランティアガイド養成講座 英語版」の参加: 31名
- ・英語ガイド検討会参加: 10名
- ・博物館正面入り口に冬季特別展の体験コーナーを設置し、外国人来館者向けの案内板を設置

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「ボランティアガイド養成講座 英語版」実施の様子  
(令和5年10月3日)



正面入り口に設置した冬季特別展体験コーナーの  
外国人来館者向けの案内板

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の指定等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 未指定の文化財については、調査・研究によりその価値を適切に判断し、新規の指定等を含めて保存・活用に向けた取り組みを行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

未指定の文化財も含めた文化財の保存・活用に関する基本的な計画として、文化財保存活用地域計画を令和6年度に策定するにあたり、令和5年度は次の取り組みにより作成を進めた。

- 令和5年度実績
  - ・策定の方針決定
  - ・文化財保存活用地域計画策定協議会設置および会議の運営
  - ・市民ワークショップの実施
  - ・文化財の把握調査、成果整理、リスト化・データベース化
  - ・文化財審議会意見聴取、庁内関係課及び県・文化庁との調整

【市民ワークショップの開催実績】

- 第1回 高山地域(旧高山城下町) 令和5年9月26日(火) 参加者10名
- 第2回 高山地域(旧高山城下町以外) 令和5年10月6日(金) 参加者8名
- 第3回 丹生川地域 令和5年10月19日(木) 参加者8名
- 第4回 清見地域 令和5年10月26日(木) 参加者8名
- 第5回 荘川地域 令和5年11月2日(木) 参加者10名
- 第6回 一之宮地域、久々野地域 令和5年11月9日(木) 参加者22名
- 第7回 朝日地域、高根地域 令和5年11月28日(火) 参加者10名
- 第8回 国府地域 令和5年11月22日(水) 参加者6名
- 第9回 上宝・奥飛騨温泉郷地域 令和5年11月30日(木) 参加者4名
- 第10回 全域(総括) 令和5年12月7日(木) 参加者8名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「文化財保存活用地域計画 市民ワークショップ」実施状況  
(高山地域(旧城下町)、令和5年9月26日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の修理事業、周辺環境の整備事業等		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
指定等文化財については、適切な保存が図られるよう計画的に修理を実施する。文化財指定建造物のほとんどが木造であり、火災や地震に対し脆弱であるため、火災報知設備の設置や耐震対策を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県指定文化財「旧新井家」において修理(屋根葺替、部分修理)を実施することにより、適切な保存を図ることができた。工事中に現場見学会を開催することで、貴重な建築技術を学ぶ場を提供し、文化財に対する関心を深めることができた。また、県指定重要有形民俗文化財「高山祭屋台(東山白山神社神楽台)」において修理を実施することで、適切な保存を図るとともに、文化財保護の意識の醸成につながった。  
□令和5年度実績  
・指定文化財の保存修理事業:2件 ※県指定:旧新井家、高山祭屋台(東山白山神社神楽台)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧新井家の修理(屋根葺替)



現場見学会(旧新井家)の様子  
(令和5年11月11日)



高山祭屋台(東山白山神社神楽台)の修理

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 飛騨高山まちの博物館については、市の歴史民俗資料の保存活用の中心施設として、郷土教育や伝統文化の継承の場としても活用を図っていく。  
 文化財に関する講座の開催や出前講座の開催等、文化財の保存及び活用に関する普及啓発を、様々な機会を使って実施する。  
 町並み保存団体、屋台組をはじめとする文化財を保存・活用する各種団体については、活動への助成、情報提供、研修等を通じて組織の維持と活性化を支援していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

飛騨高山まちの博物館において、特別展を年4回開催した。来館者は、新型コロナウイルス感染症の拡大前よりも減少したが、趣向を凝らした展示で来館者に高山の歴史や文化にふれていただく機会を提供し、昨年度よりも増加した。  
令和5年度実績  
 ・飛騨高山まちの博物館利用者数:192,634人(令和6年3月分まで) ※令和4年度:157,747人

景観町並保存会や高山祭の屋台を保存する団体、地域の伝承芸能や文化財の保存団体に対して活動助成を行った。  
令和5年度実績  
 ・景観町並保存会に対する補助金:18団体  
 ・高山祭の祭礼復興に対する補助金:1団体  
 ・指定文化財保存会に対する補助金:5団体  
 ・史跡保存会に対する補助金:13団体

高山市景観町並保存連合会の3つの専門部会では、例年、市と連携して事業を行っている。令和5年度は、子ども伝承部会で「ご朱印めぐり」を開催し、次代を担う児童を対象に、町並みの成り立ち、特徴などを啓発普及することができた。  
 【高山市景観町並保存連合会の活動実績】  
 ・「上町発見！ご朱印めぐり」10月29日(日)開催 参加者:21人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



「上町発見！ご朱印めぐり」の様子(令和5年10月29日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和5年度
	年月日	掲載紙等
「市政記念館」がリニューアルし開館 約2年かけて耐震補強	令和5年4月12日	高山市民時報
市政記念館リニューアル 一部ガラス張り、内部構造ひと目	令和5年4月13日	中日新聞
春の高山祭が14日に始まる 4年ぶりに屋台曳き揃え	令和5年4月14日	高山市民時報
古い町並み 絢爛 春の宵 6年ぶり夜祭	令和5年4月15日	中日新聞
豪華な屋台 久々の輝き 春の高山祭開幕	令和5年4月15日	岐阜新聞
高山祭に16万8千人の人出 6年ぶりに夜祭も行われる	令和5年4月17日	高山市民時報
飛騨春慶 光る伝統の技	令和5年5月14日	岐阜新聞
地域の民謡 伊勢神宮へ奉納	令和5年6月14日	中日新聞
高山祭 本番へ「屋台やわい」	令和5年9月26日	中日新聞
「秋の高山祭」が4年ぶりに通常開催	令和5年10月6日	高山市民時報
「秋の高山祭」が開幕 午前は雨で屋台は蔵で待機	令和5年10月9日	高山市民時報
秋の高山祭 5年ぶり「華」集う	令和5年10月11日	岐阜新聞
秋の高山祭 雨に負けず観光客を魅了	令和5年10月11日	中日新聞
秋の高山祭が4年ぶりに通常開催 仙人台組で祭り囃子の生演奏復活	令和5年10月11日	高山市民時報
訪日は「個人旅行」定着 コロナ禍を経て新たなニーズ	令和5年10月30日	岐阜新聞
50年ぶりの”狂言獅子”も披露 荘川町で「音と舞の祭典」開催	令和5年10月16日	高山市民時報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、高山祭は規模を縮小しての開催を余儀なくされていたが、令和5年度は4年ぶりに通常開催となった。雨の影響はあったものの、屋台の曳行や曳き揃えが行われ、多くの観光客が訪れた。このような活動が報道されることで、住民の地域活動に対する関心がより一層高まるとともに、地域の文化に対する誇りの醸成に繋がった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



春の高山祭(令和5年4月14日)



秋の高山祭(令和5年10月9日)

項目

観光客等の回遊性の向上

計画に記載している内容 道路の美装化や新たな歩行動線の確保、交通体系の見直しによる良好な歩行空間の創出により、市街地における観光客の回遊性の向上を図る。

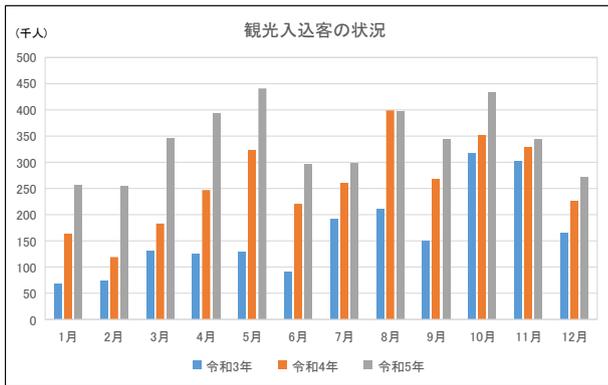
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

観光客の総数が新型コロナウイルス感染症の拡大前まで戻りつつあり、祭やGWといった繁忙期の観光入込客も昨年、一昨年と比べて増加してきている。  
このような中、AIによる行神橋人流測定の結果をみると、飛騨高山にぎわい交流館「大政」と行神橋が供用開始されて1年、中橋や陣屋、古い町並み付近と比べても引き続き人の流れはできてきており、行神橋や大政を經由して観光するルートが一定程度定着しつつあると言える。

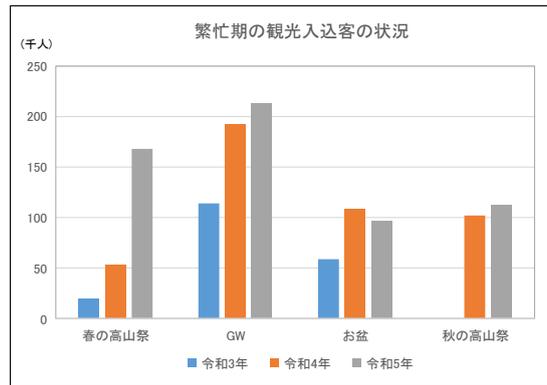
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



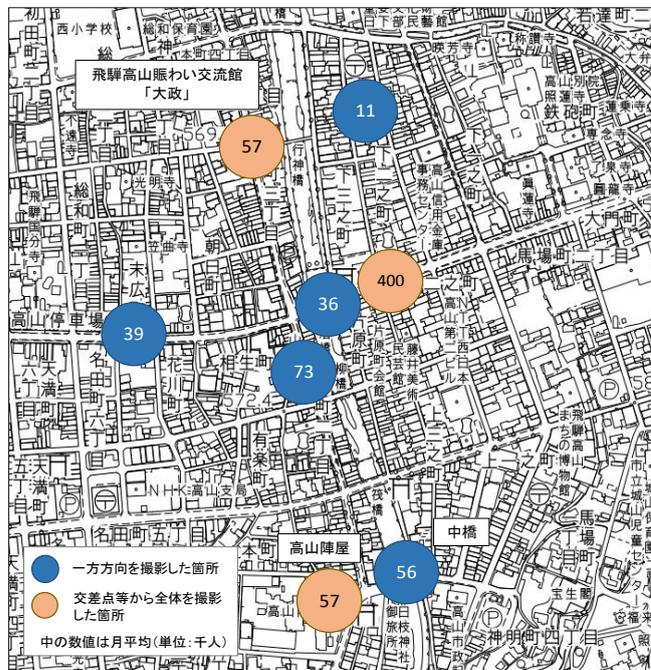
観光入込客の状況(直近3年の比較)



繁忙期の観光入込客の状況(直近3年の比較)



GWの古い町並みの様子(令和5年5月4日)



AIカメラによる各地点の計測結果(人流のみ)

評価対象年度 <b>令和5年度</b> ・法定協議会等におけるコメント
コメントが出された会議等の名称: 高山市歴史的風致維持向上計画協議会
会議等の開催日時: 令和6年4月19日
(コメントの概要)  <b>【景観計画との連携について】</b> ・置き看板について、多くの来訪者にアピールするため、事業者は色々工夫されている。一方で景観とのバランスもあり難しい。単純に規制するだけでなく、出したいという方の気持ちもくみ取ってあげないと苦しい。 ・置き看板は、昔からいる方は出さない。保存活動を始めた頃から、そういうものはあまりアピールしない、ということでやってきたが、店舗として貸すようになってアピールの方法が変わってきた。現在は商業的になりすぎている。地元も色々考えている。また、検討してほしい。 ・屋外広告物で壁に貼ってあるものの大きさや色の規制について、1軒1軒はクリアしていても、列になる、束になると落ち着かないことがある。緩和ではなく規制をしないと大変なことになる。
<b>【無電柱化等事業について】</b> ・地上設備の目隠しについて、こういった隠し方があるのだと感心した。 ・前は、車がぶつかるのではと考えていたが、夜には電気がついていることもあり、そのようなことは特にない。また、電気がついていることで防犯にも良いような気もする。今のところ、溶け込んできている。 ・地域の方に許容してもらえるのであれば、このような地上設備の設置方法も良いと感心した。
<b>【文化財について】</b> ・文化財審議会で審議対象とする文化財の数は1000に近い。面積の広大な高山で、旧高山市とそれ以外の地域とのバランスを考えて保護を図る必要がある。 ・このことは現代の課題であり、将来の課題でもある。
(今後の対応方針)  <b>【景観計画との連携について】</b> ・商業活動等に必要な情報もあるが、一定の景観上の配慮も必要。景観形成と経済の共生について、景観計画の基準の見直し作業を進めていく中で慎重に検討する。
<b>【文化財について】</b> ・令和6年度に策定予定の「文化財保存活用地域計画」の中で、関連文化財群という考え方を導入して、支所地域のものを含めて横断的な枠組みを作りあげていくことを考えている。また、集落と集落を繋ぐ歴史街道なども関連文化財群として取り上げていく。さらに、農山村集落として、地域の拠点となる集落の景観の整備なども含めた制度を検討する。